

## 未来医療研究人材養成拠点形成事業 申請書

申請担当大学名 (連携大学名)	長崎大学 (長崎純心大学) 計2大学		
テーマ	テーマB	申請区分	共同事業
事業名 (全角20字以内)	つなぐ医療を育む先導的教育研究拠点の構築 ー 人と人、場と場、ケアとリサーチをつなぐ総合診療医の養成 ー		

### 1. 事業の構想 ※事業の全体像を示した資料(ポンチ絵1枚)を【様式2】の後ろに添付すること。

#### (1) 事業の全体構想

##### ①事業の概要等

2035年における老年人口割合の将来見通しでは**長崎県は全国で5番目**に多く、後期老年人口割合も7番目に多いと推計されている。さらに長崎県は**離島**や半島を多く有し、医療・介護サービスの提供も困難を伴っている。このような状況で、超高齢化社会を迎える中、多様な疾患を抱えた**高齢者を全人的に診る医療**の充実、および、**地域で高齢者を包括的にケアするシステム**の充実が長期的課題である。しかしながら、地域包括ケアシステムへの理解が低く、生活モデルの視点からのアプローチが不十分な医師も少なくないことが指摘されており、特に、福祉職や介護職からは医師との連携が重要な課題としてあげられている。そういった中、**患者を幅広い視点で診ることができる総合的診療能力を有するとともに、地域包括ケアシステムの中で、多職種と連携して、リーダーシップあるいはフォローシップを発揮することが出来る医師の育成**が人材養成の課題である。こうした人材を養成するために種々の取組がなされているものの、**卒前・卒後の一貫した体系的取り組みは無く、病院・地域における教育体制の統合も不十分**である。加えて、超高齢化や地域包括ケアなどのテーマに関する研究は低調であるのが実情である。地域のニーズに答えた安全安心の医療供給を実現し、患者のライフスタイルや個人的価値観を尊重した効率的な医療・ケアを開発していくためにも、人口動態や疾病構造の変化、そして社会資源の局在など、地域社会全体を見据えた**地域包括医療・ケア研究を推進する人材の養成**が課題であり、そのための体制整備が急がれる。

地域包括ケアシステムを理解し、円滑に実践できる人材を育成する。関わる**全専門職種と良好な連携が取れ、多様な医療を提供できる医師、さらに、超高齢化社会に伴う諸問題を研究する医師を継続的に輩出する仕組みを構築**する。

医療・福祉・介護・介護予防等の地域包括ケアシステムや急性期病院、回復期リハビリ病院、自治体等の**教育資源を統合し、活用**する。

カリキュラムを再編統合し、**卒前・卒後一貫教育システムを構築**する。卒前は地域ケア実習を含め、**地域包括ケア教育を全医学生が受ける**。医療・福祉系の共修や地域実習の中で多職種連携の重要性を学び、さらに卒後臨床研修や生涯教育に繋げ、**総合的診療能力やマネジメント能力の養成**を図る。

長崎純心大学と連携し、**相補的な教育体制を確立**し、地域包括ケア教育の質を向上させる。

地域中核病院に**連携大学院**、地域包括ケア講座を開講し、地域包括ケアの研究を推進させると共に、若手医師の**研究志向を啓発**する。

## ②新規性・独創性

1. 本学では地域医療貢献を**ミッション**として掲げ、長年積極的に取り組んできたが、本事業は正に本学のミッションに合致した取り組みであり、本学ミッションの完成形を目指すものである。本学は全国初となる自治体からの寄付講座「離島・へき地医療学講座」を開講し、全国に先駆けて地域医療教育を推進し確固たるものとしてきた。その結果として、離島・へき地に総合医を輩出し、研究の実績も積んできた。また、医・看・リハビリ・歯・薬と医療系がそろった大学であり、本事業により地域包括ケア教育のみならず**地域医療教育の全国モデル**となりうる。
2. 在宅医療を支える医師のネットワーク「**長崎在宅Dr. ネット**」や診療情報共有システム「**あじさいネット**」、斜面地に暮らす高齢者障害者支援組織「**長崎斜面研究会**」、**長崎県基幹型認知症疾患医療センター**、福祉・介護に関する各種連絡協議会、地域包括支援センター、地域ケア会議など既存の**高齢者支援地域ネットワークシステムを教育・研究資源として統合**し、医療・福祉・保健・介護の全てを網羅した卒前・卒後の体系の一貫教育を行う。
3. **長崎純心大学と連携**することにより、社会福祉、介護福祉を含めた、医療・福祉系、全ての地域包括ケア関連専門職種間連携教育が行える。学生時より他職種学生と共に学ぶことにより、互いをよく理解し、尊重出来る専門職が生まれる。
4. 医学科入学初年度より医療面接、身体診察、超音波診断を教育する取り組みは、従来と異なる**診療能力育成先行型の新たな人材養成システム**であり、高度の総合診療能力習得が期待される。
5. 地域に密着した病床を有する地域病院に**連携大学院**を設置し、地域包括ケア講座を開講して、地域包括ケアシステムや老年医学の教育・研究を行う試みは先進的であり、高度機能病院と地域との中間に位置し、**双方のニーズを踏まえた教育・研究・政策提言**などが期待される。
6. 「**多職種連合地域包括ケア教育プロジェクトチーム**」を編成し、「**医師の心得10か条**」や「**教育ガイドブック**」などを編纂・発行する。また、関連専門職種に対する**SD、FD**を開催し、関連専門職種の**教育力向上**を図る。これら**教育コンテンツはクラウド化**し、地域で共有する。

## ③達成目標・評価指標

### ◎達成目標

- ・地域包括ケア教育資源の統合と卒前卒後一貫教育を実現させる。
- ・本事業によるプログラムにて教育を受けた、医学生・研修医・大学院生を継続的に輩出し、地域包括ケアシステムのより円滑・高度な運営に寄与すると共に、輩出された人材が新たな教育者となる。
- ・地域包括ケアの専門職連携が強化されて輩出された総合診療医と、大学院の研究成果によって地域包括ケアシステムの強化を図る。

### ◎評価指標

- ①本プログラムの総登録者数毎年延べ2,000名以上、②関わる患者数および案件毎年延べ2,000名（件）以上、③関わる専門職者数毎年延べ2,500名以上、④総合診療専門医資格取得者数10名以上、⑤論文掲載数10件以上、⑥大学院生数10名以上、⑦学位取得者数10名以上（10年間で）

## ④医学生・男女医師のキャリア教育・キャリア形成支援（※取組がない場合は記入不要）

長崎大学地域包括ケア教育センター、長崎大学医学部医学科先端医育支援センター・長崎大学病院メディカルワークライフバランスセンター・長崎大学病院医療教育開発センターが共同し、講演会を開催するなど、学生・研修医・大学院生のキャリア教育・キャリア形成支援に当たる。主として**長崎大学病院メディカルワークライフバランスセンター**がキャリア管理を行い、卒前教育から生涯教育に至るまでのキャリア形成システムに関わる。本事業における教員採用に際しても、男女共同参画に配慮し、教員の**3分の1以上を女性教員**とする。

## (2) 教育プログラム・コース → 【様式2】

## 2. 事業の実現可能性

### (1) 事業の実施体制

1. ①本事業を管理・運営するために、「**長崎地域包括ケア教育管理・運営委員会**」を設置する。構成員は長崎大学医学部長、長崎純心大学現代福祉学科長、長崎大学医歯薬学総合研究科長、長崎大学病院長、長崎市立市民病院長、長崎大学医学部保健学科長、長崎大学歯学部長、長崎大学薬学部長、関連専門職種代表、長崎市自治体の代表者、長崎県医師会長、長崎市医師会長、連携病院長、事務の長、推進委員会の委員長とし、強力なリーダーシップを発揮する。
- ②本事業の円滑な推進を図るために、「**長崎地域包括ケア教育推進委員会**」を置く。構成員は連携大学院教授、正副コーディネーター、地域包括ケア講座教員、各関連専門職種代表、長崎大学医歯薬学総合研究科地域医療学講座教授、長崎大学医学部医学科先端医育支援センター教授、長崎大学病院医療教育開発センター長、長崎大学病院メディカルワークライフバランスセンター長、学生・研修医代表、大学院生とする。
2. ①「**地域包括ケア教育センター**」を長崎大学に設置し、コーディネーター教授、助教を配置する。当センターは教育を実施し、教育プログラム・コースの開発、教育ツールの開発、研究会・講習会の開催、等を行い、学生・研修医教育の中心的役割を果たす。また、地域包括ケアに関するネットワークを教育資源として統合し、地域教育フィールドでの実践的教育を行う。地域フィールドにおける実習においても教員が随行すると共に、大学院生、研修医、学生からなる屋根瓦式の教育を徹底する。
- ②「**医療・福祉連携センター**」を長崎純心大学現代福祉学科に設置し、副コーディネーター准教授、助教を配置する。生活モデル教育体制を有する長崎純心大学と医療モデル教育体制を有する長崎大学が相互補完することにより教育の質の向上を図り、医療・福祉連携の改善、ひいては地域包括ケアの質向上に繋げる。
- ③長崎市立市民病院に**連携大学院**、「**地域包括ケア講座**」を設置する。また、**長崎大学分室を設置し、助教を配置**する。老年医学・地域包括ケアシステムに関する研究・大学院生教育を行うと共に、長崎大学と連携して、学生・研修医の教育に当たる。

### (2) 連携体制（連携大学、自治体、地域医療機関、民間企業等との役割分担や連携のメリット等）

**連携大学**は長崎純心大学とする。長崎大学に欠ける社会福祉士、介護福祉士養成学科を有するためであり、長崎大学と長崎純心大学は相補的な関係となり、両大学の教育力向上に寄与する。**自治体**は長崎市と連携する。行政に関する教育を分担するが、市の関連事業との連携を円滑化し、強化する。これにより関連行政改善への提言も期待される。**地域医療機関**としては連携大学院を置く長崎市立市民病院を中心に連携する。大学院教育のみならず、地域病院としての教育を行う。また、長崎市医師会、長崎市歯科医師会、在宅医療を行う診療所、リハビリ病院等と連携するが、これらの医療機関では大学病院には欠ける地域実践的な教育を展開できる。**民間企業**としては訪問看護や介護等の各事業所と連携し、地域での実践的教育を分担する。今回の事業で必要不可欠な連携である。各専門職種は専門領域の教育も行うが、それぞれの視点から見た地域包括ケア遂行上の問題点や理想とする医師像も伝えることができる。国内で先導的な取り組みも多く、これらの連携は意義深い。この連携の円滑化のために専任の**連携調整員**を**長崎市、長崎市医師会に配置**する。**既に多くの連携先や専門職と面談し、本事業への協力を依頼、承諾を得ている。**

### (3) 事業の評価体制

長崎地域包括ケア教育管理・運営委員会委員長、長崎地域包括ケア教育推進委員会委員長、正副コーディネーター、専門職種の代表者、連携病院の代表者、学生・研修医・大学院生の代表者外部有識者および市民を加えた「**長崎地域包括ケア教育評価委員会**」を設置する。評価委員会は評価指標の達成度、事業運営状況・体制、事業実施状況・体制、プログラム参加者の満足度などを評価する。結果を管理・運営委員会に報告し、推進委員会が改善計画を立て、教育の質向上に繋げる。

### (4) 事業実施計画

25年度	<ol style="list-style-type: none"><li>① 9月 本事業推進のための関連専門職種連合結成（長崎大学・長崎純心大学）</li><li>② 9月 連携大学院講座設立準備に着手（長崎大学）</li><li>③ 9月 教育支援・情報共有のためのサーバー設置（長崎大学）</li><li>④ 9月 遠隔授業・会議のためのネットワーク環境整備（長崎大学）</li><li>⑤ 9月 本事業教職員の募集開始（長崎大学・長崎純心大学）</li><li>⑥ 10月 地域包括ケア教育センター、医療・福祉連携センター設置（長崎大学・長崎純心大学）</li><li>⑦ 10月 長崎市立市民病院に長崎大学分室設置（長崎大学）</li><li>⑧ 10月 教育実施・支援のための教職員配置（長崎大学・長崎純心大学）</li></ol>
------	---

25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑨ 10月 地域包括ケアシステムの課題分析のための調査（長崎純心大学）</li> <li>⑩ 11月 教育推進・アクティブラーニングのための教育環境整備（長崎大学）</li> <li>⑪ 11月 地域における教育資源活用のための調査（長崎大学）</li> <li>⑫ 11月 次年度カリキュラム再編に参画（長崎大学）</li> <li>⑬ 12月 本事業の周知・協力依頼のためのパンフレット配布（長崎大学）</li> <li>⑭ 12月 ネットワーク構築のためのメーリングリスト等の整備（長崎大学）</li> <li>⑮ 12月 本事業の公表および推進のためのホームページ立ち上げ（長崎大学）</li> <li>⑯ 1月 長崎地域包括ケア教育推進委員会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑰ 1月 教員の国内視察（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑱ 1月 共修科目 NICEキャンパス科目設定（長崎大学）</li> <li>⑲ 1月 地域包括ケアシステムの課題分析のための研修会議開催（長崎純心大学）</li> <li>⑳ 2月 キックオフシンポジウムの開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>㉑ 3月 長崎地域包括ケア教育管理・運営委員会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>㉒ 3月 地域包括ケアシステムの課題分析結果公表（長崎純心大学）</li> </ul>
26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 4月 教育・研究記録のためのデータベース作成（長崎大学）</li> <li>② 4月 共修科目 NICEキャンパス科目受講者募集開始（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>③ 4月 長崎地域包括ケア教育推進委員会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>④ 4月 地域包括ケア実習導入のための次年度カリキュラム大幅改編参画（長崎大学）</li> <li>⑤ 4月 地域医療ゼミに地域包括ケア関連授業導入・地域ケア会議実習導入（長崎大学）</li> <li>⑥ 4月 共修科目 NICEキャンパス科目新規開講（長崎大学）</li> <li>⑦ 4月 卒後臨床研修に地域包括ケア科目導入（長崎大学）</li> <li>⑧ 4月 卒後臨床研修 地域医療期間に地域包括ケア研修導入（長崎大学）</li> <li>⑨ 4月 選択型臨床実習に地域包括ケア実習導入（長崎大学）</li> <li>⑩ 5月 連携大学院地域包括ケア講座開講（長崎大学・長崎市立市民病院）</li> <li>⑪ 6月 長崎大学医学部医学科・保健学科、歯学部、薬学部、長崎純心大学現代福祉学科の共修拡大のための会議開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑫ 7月・1月 フォーラム・研究会の開催（年2回）（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑬ 8月 集中セミナーの開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑭ 8月 教員海外視察（オランダ）（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑮ 8月 大学院生募集開始（長崎大学）</li> <li>⑯ 10月 長崎地域包括ケア教育評価委員会を設立する（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑰ 12月 長崎地域包括ケア教育推進委員会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑱ 1月 長崎地域包括ケア教育評価委員会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑲ 2月 長崎地域包括ケア教育管理・運営委員会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> </ul>
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 4月 必修型地域包括ケア臨床実習導入（長崎大学）</li> <li>② 4月 長崎地域包括ケア教育推進委員会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>③ 4月 入学初年次からの医療面接・身体診察・超音波診断授業導入（長崎大学）</li> <li>④ 7月・1月 フォーラム・研究会の開催（年2回）（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑤ 8月 集中セミナーの開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑥ 8月 教員海外視察（デンマーク）（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑦ 9月 医学科・保健学科、薬学部、歯学部、現代福祉学科共修導入（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑧ 10月 多職種学生の交流継続のための地域包括ケア同窓会結成（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑨ 11月 多専門職の教育志向および学生の地域志向向上のための地域包括ケア専門職と学生との交流会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑩ 12月 長崎地域包括ケア教育推進委員会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑪ 1月 長崎地域包括ケア教育評価委員会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑫ 2月 長崎地域包括ケア教育管理・運営委員会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑬ 3月 中間報告書作成（長崎大学・長崎純心大学）</li> </ul>

28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 4月 長崎地域包括ケア教育推進委員会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>② 5月 教育モデルチームとしての多職種連合地域包括ケア教育プロジェクトチーム編成（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>③ 7月・1月 フォーラム・研究会の開催（年2回） （長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>④ 8月 集中セミナーの開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑤ 9月 学生のための地域包括ケア教育ガイドブック作成 （長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑥ 11月 多専門職の教育志向および学生の地域志向向上のための地域包括ケア専門職と学生との交流会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑦ 12月 長崎地域包括ケア教育推進委員会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑧ 1月 長崎地域包括ケア教育評価委員会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑨ 2月 長崎地域包括ケア教育管理・運営委員会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑩ 3月 専門職種のための地域包括ケア教育ハンドブック作成 （長崎大学・長崎純心大学）</li> </ul>
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 4月 長崎地域包括ケア教育推進委員会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>② 6月 専門職種のための地域包括ケア連携ガイドブック作成 （長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>③ 7月・1月 フォーラム・研究会の開催（年2回） （長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>④ 8月 集中セミナーの開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑤ 9月 「地域包括ケアにおける多職種連携のための医師の心得10か条」 策定、発行（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑥ 10月 地域包括ケア関連医学博士号授与（長崎大学）</li> <li>⑦ 11月 長崎市と共同による一般向け「長寿社会の手引き」編纂 （長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑧ 11月 多専門職の教育志向および学生の地域志向向上のための地域包括ケア専門職と学生との交流会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑨ 12月 長崎地域包括ケア教育推進委員会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑩ 1月 長崎地域包括ケア教育評価委員会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑪ 2月 長崎地域包括ケア教育管理・運営委員会開催（長崎大学・長崎純心大学）</li> <li>⑫ 3月 論文集・政策提言集編纂・公開（長崎大学）</li> <li>⑬ 3月 最終報告書作成（長崎大学・長崎純心大学）</li> </ul>

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	長崎大学医学部医学科、長崎純心大学現代福祉学科						
プログラム・コース名	地域包括ケア教育プログラム						
対象者	医学生1～6年生、現代福祉学科生1～4年生						
修業年限（期間）	6年						
養成すべき人材像	①医療チームの構成や各構成員の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。 ②自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。 ③医療を巡る社会経済的動向を把握し、地域医療の向上に貢献するとともに、地域の保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力する。 ④地域包括ケアシステムについて説明できる。 ⑤高齢者を理解し、高齢者医療と高齢者福祉の特徴を説明できる。 ⑥男女を問わずキャリアを継続させて、生涯にわたり自己研鑽を続ける。						
修了要件・履修方法	必修科目7.5単位を修得し、実習を行うこと。						
履修科目等	<必修科目> 医と社会（医と暮らし等）（1単位、1～4年生、一部共修） 臨床実習（地域ケア科目）（3週間、5年生、一部共修） <選択科目> 高次臨床実習（4週間、6年生）、地域医療ゼミ（1単位、1～4年生）、医学ゼミ（1単位、1～4年生）						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年に編成されている「医と社会」等の授業を必修の「地域包括ケア一貫教育」として再編し学年に応じた教育コンテンツを提供すると共に、長崎純心大学現代福祉学科学生との共修「医と暮らし」を盛り込む。</li> <li>全医学生が受講し、地域包括ケアシステムを全医学生に理解させる。</li> <li>長崎在宅Dr. ネットなど国内でも先導的な活動を行っている領域で実習する。</li> <li>地域ケア会議や地域包括支援センター等の関連全専門職種から学ぶ。</li> <li>離島での医療・保健・福祉・介護・行政を学ぶ。</li> <li>中央や地方行政職から学ぶ。</li> <li>タブレットPCを配布し、情報伝達を正確、迅速に行う。</li> </ul>						
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケア教育センター教員</li> <li>長崎大学教員</li> <li>地域包括ケア関連専門職</li> <li>中央・地方行政職</li> <li>先輩医師、研修医</li> <li>長崎純心大学現代福祉学科教員</li> <li>模擬患者会等</li> </ul>						
受入開始時期	平成26年4月（臨床実習は平成27年4月）						
受入目標人数	対象者	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	計
	医学生	0	500	620	620	620	2,360
	福祉学科生	0	30	30	30	30	120
	計	0	530	650	650	650	2,480

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	長崎大学医学部医学科・保健学科、歯学部、薬学部、長崎純心大学現代福祉学科						
プログラム・コース名	地域包括ケア共修プログラム						
対象者	医学科生、保健学科看護学専攻学生・理学療法学専攻学生・作業療法学専攻学生、薬学生、歯学部生、介護福祉学生、社会福祉学生						
修業年限（期間）	2年						
養成すべき人材像	①医療・福祉系他職種の考え方を理解し、尊重することができる。 ②問題抽出・解決のプロセスにおいて、チームワークの重要性を説明できる。 ③医療・福祉系多職種チームにおいて適切なリーダーシップとフォロワーシップをとることができる。						
修了要件・履修方法	必修科目を履修すること。						
履修科目等	<必修科目> 教養セミナー（1単位、1年生）、医と社会（7.5単位の一部、4年生） <選択科目> NICE(Nagasaki Intercollegiate Credit Exchange)キャンパス長崎（1単位、1～6年生）						
教育内容の特色等 （新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアに関する問題を題材とした問題基盤型学習（大教室型または小教室型）を行う。</li> <li>・ファシリテータとして関連専門職種が加わる。</li> <li>・各医療・福祉系学生が混在したグループ形成となる。</li> <li>・双方向型教育支援システムを用いる。</li> <li>・インタラクティブホワイトボードなどICTを応用する。</li> <li>・大学間遠隔授業システムを応用する。</li> </ul>						
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア教育センター教員</li> <li>・長崎大学教員</li> <li>・長崎純心大学現代福祉学科教員</li> <li>・模擬患者会等</li> <li>・地域包括ケア関連専門職</li> </ul>						
受入開始時期	平成27年4月						
受入目標人数	対象者	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	計
	医学生	0	0	240	240	240	720
	他学科生	0	0	560	560	560	1,680
	福祉学科生	0	0	30	30	30	90
	計	0	0	830	830	830	2,490

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	長崎大学医学部医学科						
プログラム・コース名	基本的診療能力育成プログラム						
対象者	医学生1～6年次生						
修業年限（期間）	6年						
養成すべき人材像	①統合された知識、技能、態度に基づき、全身を統合的に診察するための実践的能力を有する。 ②医療面接における基本的コミュニケーション技法を用いることができる。 ③病歴を聴き取り、情報を取捨選択し整理できる。 ④視診・触診・打診・聴診とともに血圧測定など基本的診察能力を有する。 ⑤病歴、診察所見を基に鑑別診断、診療計画を立てることができる。 ⑥超音波機器の原理を理解し、基本的診断に用いることができる。 ⑦基本的救命救急措置ができる。						
修了要件・履修方法	必修科目7.5単位を履修し、実習を行うこと。						
履修科目等	<必修科目> 医と社会（7.5単位の一部、1～4年生）、臨床実習（3週間、5年生） <選択科目> 高次臨床実習（4週間、6年生）、地域医療ゼミ（1単位、1～4年生）、医学ゼミ（1単位、1～4年生）						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初学年（1年生）より、医療面接、基本的診察、超音波診断を学ぶ。</li> <li>・初学年より学ぶことにより、従来より高度な医療面接能力、基本的診察能力、超音波診断能力を卒業時に得ることが出来る。</li> <li>・選択科目を受講することにより更に高度な医療面接能力、基本的診察能力を身に付けることが出来る。</li> <li>・多くの診断訓練機器を配置し、修練の機会を多く持たせる。</li> <li>・問題基盤型学習を行う。</li> </ul>						
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア教育センター教員</li> <li>・長崎大学教員</li> <li>・模擬患者会等</li> <li>・シミュレータ</li> </ul>						
受入開始時期	平成26年4月						
受入目標人数	対象者	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	計
	医学生	0	660	660	660	660	2,640
							0
							0
							0
	計	0	660	660	660	660	2,640

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	長崎大学病院						
プログラム・コース名	総合医・家庭医コース						
対象者	初期臨床研修医						
修業年限（期間）	2年						
養成すべき人材像	①患者を幅広い視点で診ることのできる総合的な診療能力を有する。 ②医療チームの構成員としての役割を理解し、保健・医療・福祉・介護の幅広い職種からなるメンバーと協調できる。 ③患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立できる。 ④医療の持つ社会的側面の重要性を理解し、社会に貢献できる。 ⑤高齢者に対して効率的に多様な医療を包括的かつ柔軟に提供できる。						
修了要件・履修方法	21か月以上研修し、臨床研修到達目標を達成すること。						
履修科目等	<必修科目> 総合診療科、救命救急センター、精神科、皮膚科、内科、整形外科、小児科、地域医療、地域包括ケア、マネジメント法・教育法 <選択科目> 産婦人科、保健・福祉行政						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	・離島・へき地での研修を3か月以上行う。 ・在宅医療、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、地域ケア会議における研修を行う。 ・国、地方における地域包括ケア関連諸問題を学ぶ。 ・患者・住民・後進等への教育法を学ぶ。						
指導体制	・地域包括ケア教育センター教員 ・長崎大学教職員 ・離島・へき地病院・診療所教職員 ・地域包括ケア関連専門職 ・中央・地方行政職 ・先輩医師、後期臨床研修医 ・連携大学院講座教員 ・学外特別講師等 ・長崎純心大学現代福祉学科教員						
受入開始時期	平成27年4月						
受入目標人数	対象者	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	計
	初期研修医	0	0	5	5	5	15
							0
							0
							0
	計	0	0	5	5	5	15

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	長崎大学病院						
プログラム・コース名	地域総合医養成コース						
対象者	後期臨床研修医						
修業年限（期間）	1～3年						
養成すべき人材像	①地域住民とのつながりを大切にした、継続的で包括的な保健・医療・福祉の実践及び学術活動が行える。 ②地域・コミュニティーをケアする能力を有する。 ③患者中心・家庭志向の医療を提供する能力を有する。 ④総合診療専門医資格を取得できる能力を有する。 ⑤後進を指導できる。 ⑥多職種と連携してリーダーシップがとれる。						
修了要件・履修方法	12～36か月以上の研修を行うこと。						
履修科目等	<必修科目> 総合診療科、救命救急センター、精神科、皮膚科、内科、整形外科、小児科、地域医療、地域包括ケア、マネジメント法・教育法 <選択科目> 産婦人科、保健・福祉行政						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離島・へき地での研修を含む。</li> <li>・在宅医療、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、地域ケア会議における研修を行う。</li> <li>・国、地方における地域包括ケア関連諸問題を学ぶ。</li> <li>・患者・住民・後進等への教育法を学ぶ。</li> <li>・研究法、研究発表法を学ぶ。</li> </ul>						
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア教育センター教員</li> <li>・長崎大学教職員</li> <li>・離島・へき地病院・診療所教職員</li> <li>・地域包括ケア関連専門職</li> <li>・連携大学院講座教員</li> <li>・学外特別講師等</li> <li>・長崎純心大学現代福祉学科教員</li> <li>・中央・地方行政職</li> </ul>						
受入開始時期	平成27年4月						
受入目標人数	対象者	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	計
	後期研修医	0	0	5	5	5	15
							0
							0
							0
	計	0	0	5	5	5	15

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻地域包括ケア講座						
プログラム・コース名	地域包括ケア研究医養成コース						
対象者	医歯薬学総合研究科医療科学専攻大学院生						
修業年限（期間）	4年（博士課程）						
養成すべき人材像	①高齢社会に伴う医療ニーズの変化に対応し得る研究志向を持つ。 ②医療の進歩と改善に資する臨床研究を遂行できる。 ③専門職種と協力し、教育や地域ケアの指針、ならびに姿勢・態度の指針を作成することができる。						
修了要件・履修方法	32単位以上を履修すること。						
履修科目等	<共通科目> 生命医療科学セミナー（2単位）、生命医療科学概論・生命医療科学特論（1単位以上） <地域包括ケア研究医養成コースの科目> 地域包括ケア学特論（3単位）、地域包括ケア演習（2単位）、地域包括ケア学実習（2単位）、在宅・地域医療実習（1単位）、離島・へき地病院実習（2単位）、研究科が指定する地域包括ケア関連科目（8単位以上）、研究科が開設する地域包括ケア関連科目（4単位以上） <主科目> 所属専攻が開設する授業科目（8単位以上）						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアをテーマとした博士課程である。</li> <li>・国内でも先導的な活動を行っている領域での実習を行う。</li> <li>・高度機能病院と地域との中間に位置し、地域に密着した病床を有する地域病院で、双方のニーズを踏まえた学習・研究を行う。</li> <li>・行政を学び、政策提言を行う。</li> <li>・指針等成果を公表する。</li> </ul>						
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携大学院講座教員</li> <li>・地域包括ケア教育センター教員</li> <li>・地域包括ケア関連専門職</li> <li>・中央・地方行政職</li> <li>・学外特別講師等</li> <li>・長崎大学教員</li> <li>・長崎純心大学現代福祉学科教員</li> </ul>						
受入開始時期	平成26年10月						
受入目標人数	対象者	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	計
	大学院生	0	2	2	3	3	10
							0
							0
							0
	計	0	2	2	3	3	10

## 教育プログラム・コースの概要

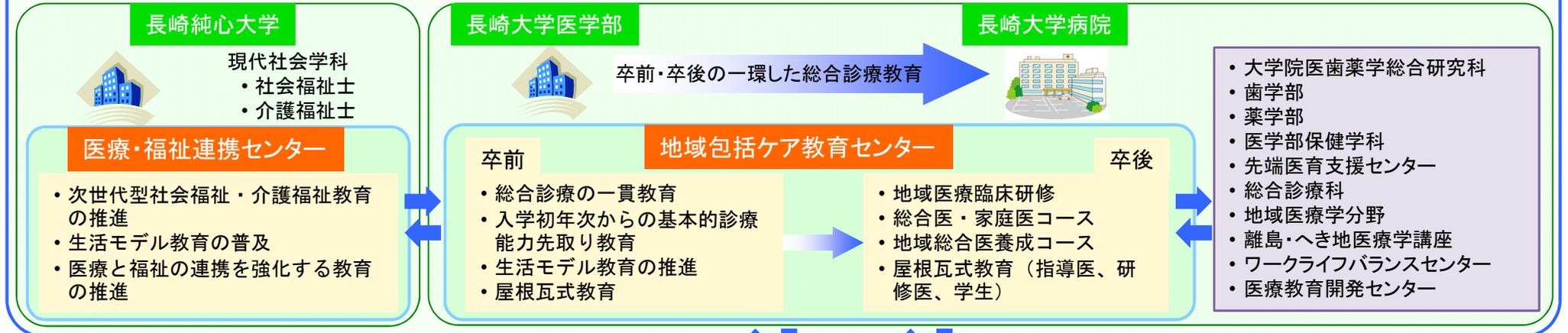
大学名等	長崎大学医学部						
プログラム・コース名	総合医・地域包括ケア生涯教育セミナー						
対象者	一般医師						
修業年限（期間）	1年						
養成すべき人材像	①地域住民とのつながりを大切にした、継続的で包括的な保健・医療・福祉の実践及び学術活動が行える。 ②地域・コミュニティーをケアする能力を有する。 ③患者中心・家庭志向の医療を提供する能力を有する。 ④総合診療専門医資格を取得に繋がる能力を有する。 ⑤多職種と連携し、リーダーシップがとれる。						
修了要件・履修方法	セミナーを4回受講すること。						
履修科目等	<必修科目> セミナー （地域医療学、地域福祉学、地域保健学、地域介護学、総合診療科学、家庭医療学、地域リハビリテーション学、医療倫理学、地域保健・福祉行政学等）						
教育内容の特色等 （新規性・独創性等）	・総合診療専門医資格取得を視野に入れたセミナーである。 ・地域医療、地域包括ケアシステムを学ぶ生涯学習セミナーである。 ・医師生涯教育講座と連携する。						
指導体制	・地域包括ケア教育センター教員 ・長崎大学教職員 ・離島・へき地病院・診療所教職員 ・地域包括ケア関連専門職 ・中央・地方行政職 ・連携大学院講座教員 ・長崎純心大学現代福祉学科教員						
受入開始時期	平成27年4月						
受入目標人数	対象者	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	計
	一般医師	0	0	10	10	10	30
							0
							0
							0
	計	0	0	10	10	10	30

## 教育プログラム・コースの概要

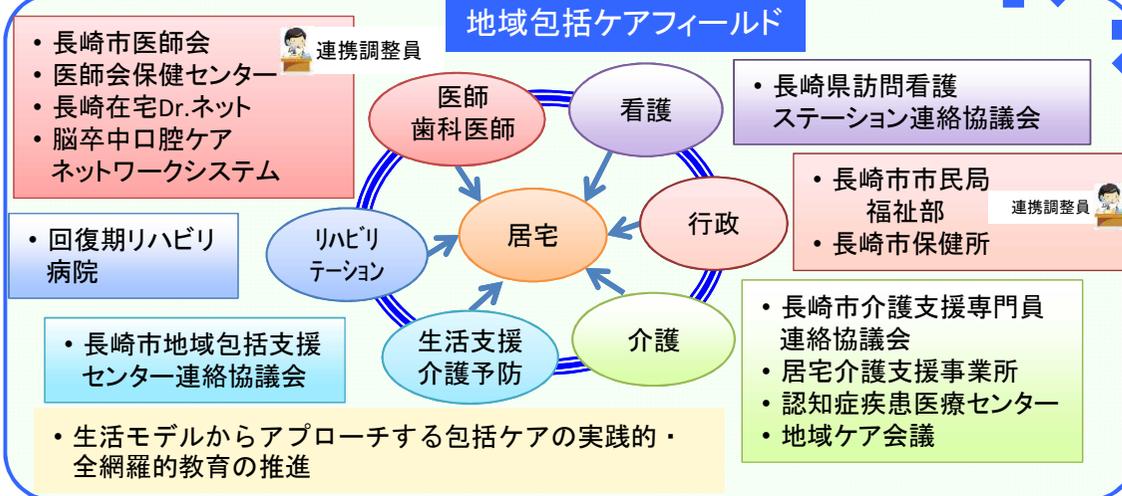
大学名等	長崎大学医学部						
プログラム・コース名	地域包括ケア教育SD・FD						
対象者	地域包括ケア関連専門職種						
修業年限（期間）	1年						
養成すべき人材像	①教育の基本的事項や教育手法を理解し、応用できる。 ②医療関連学生の教育プログラムを理解し、学生・研修医と接することができる。						
修了要件・履修方法	規定時間の講習を受けること。						
履修科目等	<必修科目> 基本的教育理論、基本的教育手法、コーチングの基礎、 学生・研修医教育に関わる問題点とその解決法						
教育内容の特色等 （新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステム関連職種に対するSD・FDである。</li> <li>・多専門職種の教育力向上のためのセミナーである。</li> <li>・共に学ぶことが良好な連携に繋がる。</li> </ul>						
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎大学地域包括ケア教育センター教員</li> <li>・長崎大学教職員</li> <li>・地域包括ケア関連専門職</li> <li>・長崎純心大学現代福祉学科教員</li> </ul>						
受入開始時期	平成26年4月						
受入目標人数	対象者	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	計
	専門職	0	20	20	20	20	80
							0
							0
							0
	計	0	20	20	20	20	80

# つなぐ医療を育む先導的教育研究拠点の構築 一人と人、場と場、ケアとリサーチをつなぐ総合診療医の養成

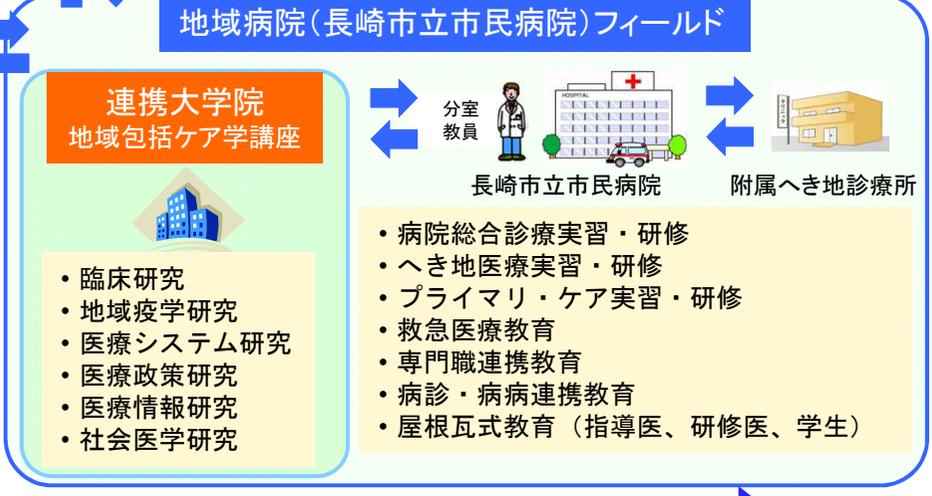
## 大学フィールド



## 地域包括ケアフィールド



## 地域病院（長崎市立市民病院）フィールド



## 卒前・卒後地域包括ケア一貫教育・研究プログラム

医学部医学科	初期臨床研修	後期臨床研修	生涯教育
地域包括ケア教育プログラム(必修)	総合医・家庭医コース	地域総合医養成コース	総合医・地域包括ケア生涯教育セミナー
地域包括ケア共修プログラム(必修)	<b>大学院(医歯薬学総合研究科)教育</b> 地域包括ケア研究医養成コース		
基本的診療能力育成プログラム(必修)			